

★Supported by the National Garden Scheme in the U.K.: 英国 The N.G.S.後援

～The N.G.S. Japan～

社団法人N.G.S.ジャパン

～2026年春、私の思い～



★設立25周年記念～皆様へ心から御礼★

「N.G.S.ジャパン」は、皆様の多大なるお優しいご協力ご支援のおかげで、本年2026年6月5日において、設立25周年を迎えます。ここに感謝と共に心より御礼申し上げます。

私は、幸運にも、英国中部にあるチャッツワースという壮大な邸宅と庭園を所有するデボンシャー公爵家のレディ・エマ・テナント様よりご紹介いただき、1999年9月9日に 英国サリー州ギルフォードの近くにある、その当時、英国 The National Garden Scheme の会長であられたダフネ・フォーシャム様の1200坪の広大なガーデン “Vale End” に初めて訪問させていただきました。その時、彼女から、「日本で『チャリティのためのオープンガーデン』が行われていないのなら、あなたが始めなさい。」と言われ、私は、思わず、“I do “と何も考えずに即答してしまいました。そして、2001年6月6日、長野県佐久平にその当時あった「メアリーローズガーデン」にて、ダフネ会長のご臨席の下、N.G.S.ジャパンの発足式を行ってしまったのです。あれから本当に紆余曲折、よく25年も続けられたものだとして私にとって奇跡なことであり灌漑ひとしおです。あの発足式以来、ダフネ・フォーシャムさんは、” The Mother of the N.G.S. Japan “であり、名誉総裁をしていただきいております。私は、今でも彼女を師と仰ぎ、英国の母と慕っております。さらに N.G.S.ジャパンの名誉顧問の川勝平太先生と顧問の御奥様の川勝貴美様から、西洋の騎士道精神に繋がり英国の高等教育の理念とされている「ノブレス・オブリージュ」（高貴なる者は、勇気、高潔、仁愛という徳を積み、社会に貢献する責務がある、）という私にとって、この庭園福祉活動をし続ける原動力となっている、とても大切な理念を頂きました。N.G.S.ジャパンは、「お花からのノブレス・オブリージュ」の理念の元、これまで利他の精神を重んじ行って参りました。

私にとりまして、レディ・エマ・テナント様、ダフネ・フォーシャム様、川勝平太先生と御奥様の貴美様、この4人の方との出会いがあつてこそ、この活動を奇跡的に始め、このように長年に渡って続けることができました。私の人生の、そしてN.G.S.ジャパンの大恩人の方々です。そして、更に長年に渡り、理事であり、会計・税務を全てして下さっている澤口雅昭様と常に心の支えになって下さり何でも相談しています理事の奈良文江様も恩人であり、ここに心からの御礼と感謝を申し上げたいと思います。

そして何よりも感謝しなくてはなりませんのは、この活動を25年間続けられましたのも、「友の会」の会員様の長年に渡る大きな温かなご支援ご協力があつてこそ、そして、長年に渡って、「チャリティのためのオープンガーデン」の多大なるご協力をし続けて下さっている各ガーデンのオーナー様の本当に大きなご協力のおかげでございます。また数えられないほど多くの善意溢るる方々からの温かなご理解ご協力ご支援に支えられ、この庭園福祉活動をし続けてまいりました。私の人生にとりまして、大きな財産であり、かけがいのない愛の宝物でございます。心より感謝と共に御礼申し上げます。

最後に 私は、この25年間長きにわたって影日向ずうと応援して守ってくれた父からの計り知れない愛と若くして亡くなった母の天国からの大きな愛により、この活動をし続けられました。両親に心から感謝したいと思います。

これから更に新しいN.G.S.ジャパンが始まります。至らぬことばかりの谷口ではございますが、これからもご支援ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。それにしても、N.G.S.ジャパンの「お庭という美しい癒しの中で、より多くの皆様に、楽しんで頂き、感動して頂き、その幸せのお裾分けとして『チャリティ』という小さな幸せたちに社会のために活躍してもらう」活動は、なんて平和的で素晴らしい活動なのでしょう。私は、つくづくこの庭園福祉活動は平和のシンボルだと誇りに思います。

今後とも、本年度も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

感謝と共に心より御礼

(社) N.G.S.ジャパン

代表 谷口 多美江

